

建材マンスリー

THE KENZAI monthly



11

No.518

2008



特集

国産材時代の森林・林業と木材産業
林野庁・島田泰助次長に聞く

1

情報ピックアップ

国交省の平成21年度住宅局関係
予算概算要求と住宅政策の動向

6

製品紹介

大建工業のペットにやさしい多機能フローリング
「ワンラブフロア」

12

ノダのトータルコーディネートシステム
「ATELIA(アトリア)」

14

9月の新設住宅着工

3ヵ月連続増の9万7,184戸

16



平成18年4月告示改正
次世代省エネ基準対応

ポリカッパ-Q105

「次世代省エネ基準」に新仕様誕生。さらに施工性・コストパフォーマンスがアップ！
ますます簡単施工！ポリカッパ-Q105 が実現します！

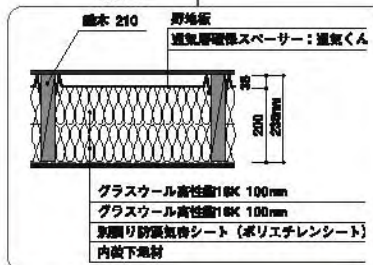
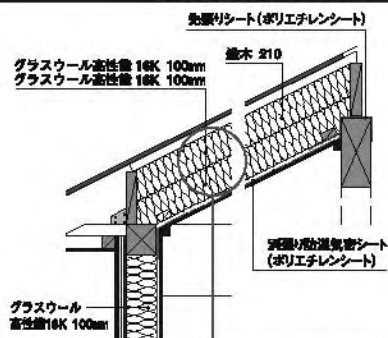
平成18年4月の告示改正を受けた次世代省エネ基準と屋根R値基準の緩和に対応した新仕様が誕生しました。
高性能16Kガラスウール「ポリカッパ-Q105」の1層で屋根、壁を施工するだけ。しかもJIS規格の
住宅用防湿フィルム付属の耳付き商品なので別貼りの防湿気密フィルムが不要。簡単に次世代省エネ住宅が完成します。

壁も、屋根も高性能ガラスウール16K(105mm)1層で丸包み

従来次世代仕様とするには

- 屋根断熱材は16KHG100mm厚のガラスウールの2層施工
- 垂木は210が必要
- 屋根断熱材施工後は別貼り防湿気密シートを使用
- 壁は16KHG100mm厚

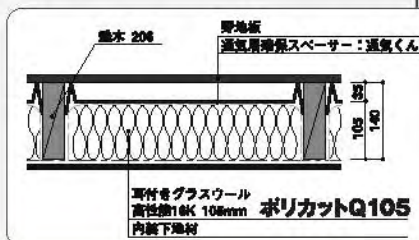
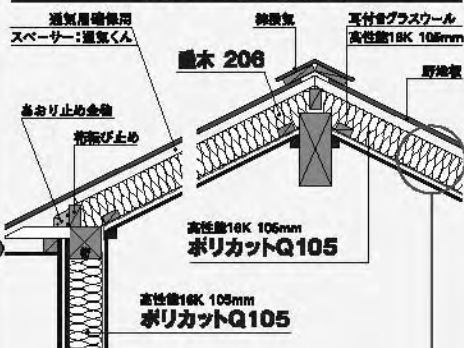
従来仕様



屋根R値緩和仕様にするにはこう変わる！

- 屋根断熱材は高性能16Kポリカッパ-Q105(105mm)1層でOK
- 垂木も206でOK
- 耳付きかつ50μPEフィルム付属で別張りシート不要
- 壁も高性能16Kポリカッパ-Q105(105mm)でOK

ポリカッパ-Q105仕様



国産材の復活を柱に総合的施策を展開している林野庁。国内の森林・林業の動きをはじめとする森林経営支援と山村対策、木材の需要拡大策、そして200年住宅や新しい取組み等々、この9月19日付で長官に就任した内藤邦男氏の補佐役として、豊富な経験を活かして奔走する島田泰助林野



庁次長に「国産材時代の森林・林業と木材産業」について聞いた。聞き手は住友林業(株)木材建材事業本部営業管理部(建材マンスリー編集室)荻本博樹。

日本林業は再生のチャンス

地球温暖化防止へ向け「見える化」推進

—本日はお忙しい中、建材マンスリーの取材に時間をとっていただき有難うございました。最近では環境意識の高まりで森林のCO₂吸収機能が注目されています。まずは、国内の森林や林業に現在どのような動きが生じているかお聞かせください。

▷国内の森林・林業の動き

島田次長：今年から京都議定書の第一約束期間が始まりましたが、2012年までに日本国全体でCO₂の排出量を6%削減することとされており、そのうちの半分以上の3.8%を森林による二酸化炭素の吸収によって確保することとされています。

このため、京都議定書の目標達成を図るためには、6年間に330万haの間伐を実施していく必要がありますが、この間伐を計画的に



島田泰助(しまだ・たいすけ)氏

略歴：昭和28年生まれ、昭和51年東京大学農学部林学科卒同年農林省入省、平成16年九州森林

管理局長、平成18年森林整備部長、林政部長を経て、平成20年7月より現職(林野庁次長)

進めていくためには森林所有者の協力が必要となりますし、間伐材の利用先の確保も重要な課題となっています。

日本の森林を見てみると、戦後、植林された人工林が年々、成熟しており、人工林のうちの約4割弱が資源として本格的な利用可能時期に達しています。このため、今後については、主伐した木材の需要先の確保についても重要な課題となります。

このように国内の森林・林業においては環境面・森林経営の面から木材、とりわけ国産材の利用を進めることが求められています。

更に、現在海外の状況が大きく変化しており、今まで国産材を離れて輸入材にシフトしていた流れが、もう一度国産材を見直そうという流れに変わってきています。

実際、合板業界や集成材業界では輸入材から国産材へとシフトする流れが出てきました。国内の林業を立て直し、求められる製品を安定的に供給しつつ日本の林業を再生していくことが、今私共に求められている大きな課題であると認識しているところです。

一では、川上の森林・林業対策について、これまでの経過と今後の取組をお聞かせください。

全国11カ所でスタート した“新生産システム”

▷ 森林・林業対策の経過と今後の取組

島田次長：川上の林業については、日本特有の問題点がいくつかあります。例えば地形が急峻である、所有規模が零細で施業の単位が小さい、不在村森林所有者が増えており、現地では隣接する森林所有者との境界も明らかでないといった問題です。

今まで森林所有者に対する造林の補助、製材工場への融資など様々な施策を行ってきましたが、海外から入ってくる輸入材に対して国産材は価格・品質だけでなく安定供給の面で遅れをとり、シェアを落としてきたというのがこれまでの状況でした。

国産材がシェアを失っていくにつれて原木の価格が下がり、森林所有者の施業意欲が失われてきたと考えています。このような状況を改善し、国産材が輸入材に価格・品質・安定供給といった面から対抗出来るよう、平成18年度から新生産システムが全国11カ所でスタートしました。

これは、川上と川下が連携して国産材流通の大きな流れを作り、外材に対抗できる体制

を構築しようという取組です。

また、こうした流れを全国各地で作っていくためには価格面、安定供給面での整備を進める必要があることから、川上では施業の集約化、高性能林業機械の導入、作業路網の整備などの施策を進めています。

集約化では森林所有者がまとまり施業の単位を拡大し効率的な作業を進める、施業単位の拡大に際しては高性能林業機械を導入しコストダウンを図っていく、そして、そのために必要な低コストの作業路網を整備していくということです。従来は架線集材が中心でしたが、作業路網が整備されると高性能林業機械による集材が可能となります。

一山村対策はどのような施策を考えられていますか。

山村再生支援センター 創設に向け予算要求

▷ 山村対策

島田次長：山村問題は林業経営と裏腹の問題と考えており、収入機会をどう確保するかが重要な課題です。山村で収入があれば人は定着しますので、森林の価値を最大限に生かしながら収入機会を出来るだけ確保していきたいと考えています。

例えば、現在国内での排出量取引が議論されていますが、この中に森林や木材の役割を評価できないか、すなわち今まで熱源であった重油や灯油などを再生可能な森林資源である木材—例えばペレットストーブやチップボイラー—で代替することにより生じるCO₂の排出削減効果を評価し、これを排出削減クレジットとしてマーケットの中で取引することができないかと考えています。

平成21年度の予算では、こうしたクレジットを取扱う山村再生支援センターの創設を要求しているところですが、日本の山には間伐が実行された後使われないで捨てられている資源が非常に多く残されています。

それが重油にかわって新しいエネルギー源

となれば環境面で貢献でき、また、CO₂の排出量取引マーケットの中で森林資源を貨幣価値で評価することは、森林に新しい付加価値を生み出すことにつながります。

エネルギー源を木質に変えることによってCO₂をどれだけ削減したかを評価する役割を山村再生支援センターが果たす、こういう形ができれば山村に新しい価値が生まれ山村地域の活性化に結びつくのではないかと考えています。

日本の山に捨てられている資源を活用することは、環境面での貢献のみならず、林業収入にもつながることから山村地域の活性化に大きな意味を持っています。このため、林地残材—今まで山に捨てられていた根株や梢端部など—の活用を力を入れて21年度の予算要求を行っています。

柱や造作材などに使われるものに加えて、最近では少し曲がったものでも合板に使われるなど、全体的に木材の用途が広がっていることは間違いありません。

しかしながら、それ以外は価格が安いためほとんど使われておらず、年間850万m³もの林地残材が発生しています。

これをバイオマスやチップとして活用するなど様々な用途を開発し、新たな価値が見い出されれば、森林所有者の所得となるのみならず、森林組合や素材生産業者等の新たな仕事にもなり、山村地域の活性化につながります。

—ここ数年の原油・原材料の高騰、資源国の資源政策の強化など需給環境が大きく変化していますが、木材についての需給環境はどのような状況にありますか。

▷木材の需給環境について

島田次長：木材需給を巡る情勢は、ここ数年で大きく変化しています。特に来年1月に向けロシアの丸太輸出税が25%から80%へ引き上げが予定されており、これまで北洋材を主として取り扱っていた合板工場や製材工場では原料転換が求められています。今後につ



作業路からの高性能林業機械による集材作業

いては、中国やインドなどのマーケットがどのように動くのか見極めながら対応する必要があると思われませんが、日本が主導権を握ってマーケットが動くという時代は終わったと考えています。

したがって、国産材を安定的に供給できる体制を作っていく、産業界にとっても利用可能な選択肢が増えるように国産材と外材とを併せながら様々な需要に応じていく必要があると思います。

—では、川下の需要拡大や木材産業対策の現状と平成21年度の取組をお聞かせください。

拡大する国産材マーケット 顔の見える木材での家造り

▷木材需要拡大と木材産業対策

島田次長：なぜ国産材が輸入材にマーケットを取られてきたかを考えると、製品の質、供給、価格の面で問題があったと思われれます。従来、国内の製材工場は比較的小規模であったため製材コストがかかり価格面で競争ができない、また、品質面でもきっちり管理されたものを供給できない、そしてマーケットが求める商品を求める時期に供給できなかったという問題がありました。

しかしながら、乾燥材の生産を進めて品質を向上し、安定した量を供給し、価格競争力をつければ国産材でも十分マーケットを取れると思っています。

現にそのような動きが始まっており、例えば合板用材においては輸入材と比較して国産材が質的・價格的に競争可能な状況となっており、かつ、安定的な供給も行われていることから、国産材のマーケットが徐々に拡大しつつあります。集成材においても質・量・價格の面で競争ができれば同じようにマーケットを増やしていくことができると考えています。

製材品については集成材との競争が出てくるという難しい面がありますが、乾燥で質を高め、安定した量を提供し、価格面でも条件が整えば国産材のマーケットが更に広がっていくものと考えています。

地域材の特性を生かした 地域型住宅への助成検討

また、日本の住宅に高品質、高付加価値を求める需要者も多勢いらっしゃると思いますので—200年住宅の動きもそうでしょうが—様々なニーズに応えられるよう、顔の見える木材での家づくりという形でユーザーの要求に応える、地域材の特性を生かした地域型住宅づくりへの助成を行うなどの施策を検討しています。

マンション内装材などへの国産材の利用拡大も考えていく必要があります。新しい市場を獲得するためには市場が求めるものを作らなければなりません。

国産材がマンションの室内でも使われるためには、しっかりと乾燥が行われ曲がったり割れたりしない、更には、消費者が使いやすいといったものを具体的に提供できるかどうかポイントとなりますので、こうした製品の開発等に対する助成にも取り組んでいます。

—先ほど200年住宅の話が少し出しましたが、住宅の長期化は注目されているところですので林野庁として何か取り組みがあればお願いします。

長寿命化に向けた製品開発 や表示体制の整備など推進

▷200年住宅への取組

島田次長：私共は住宅部材を提供するという立場で200年住宅への関わりを考えています。200年住宅は、長く使っていく品質の高い住宅というコンセプトですので、それに対応できるような高強度・高耐久部材の開発・普及が要求されます。

このため、厚ものラミナーの活用や、耐久力があり長寿命を意識した内装部材などの製品の開発・普及、品質管理・表示体制の整備等を進めていきたいと考えています。また、国土交通省とも連携し、200年住宅に地域材が使われるよう、木材の良さの普及などについても取り組んでいきたいと思っています。

—違法伐採への対応についてはどのように考えられますか。

▷違法伐採について

島田次長：違法伐採を行わないということは森林所有者が守る当然の責務と考えています。内外無差別ということがありますので、日本の国内でも合法性が証明されたもの、持続可能性が証明されたものを使っていくような流れは今後さらに進むものと思われれます。

また、森林所有者にとって、伐採後に更新を行い森林資源を循環可能な形として利用していくことは、森林が有する公益的機能を高度に発揮する観点からも求められる責務であると考えています。

森林が果たす公益的機能があって初めて色々な補助や助成制度が成り立っているわけですから、環境問題への関心が高まりを見せる中であって、森林所有者はこうした流れをきちっと受け止めるような対応が必要だと考えています。

—排出量取引の試行が10月から始まったわけですがこれに関連して林野庁としての取組がありましたらご紹介ください。

21年度に向け住宅減税要望 木材の需要拡大面にも貢献

▷新しい取組について

島田次長：先ほど排出量取引の中に森林や木材の機能を組み込むことができるように取組んでいるとお話しましたが、機能の部分については、木材を使うことによってCO₂の排出がどの程度削減され、それを環境負荷軽減の観点からどのように評価していくのがポイントとなります。

このため、私共は木材を使うことによって得られる効果を定量化出来るよう「見える化」の検討会を行っているところです。

木材は製造過程のエネルギー消費が非常に少ない素材ですので、いろいろなところで使うことで環境負荷の高い資材の消費を抑えるといった効果が期待されます。こうしたことも含めて「見える化」検討会の中で森林や木材利用の効果をまさに目に見えるようにしていきたいと考えています。

また、平成21年度に向けて税制の関係では木造住宅の減税について要望しています。これは、木造住宅を建てる時にこの家はどれだけのCO₂を固定しているのかという点に着目したものです。

家が壊され燃やされるまでは、そこに使われている部材は森林と同じようにCO₂を固定していることから、CO₂を固定する機能に対して評価を行い、木造住宅を建てることに対して減税措置で優遇することができないかと考えているところです。

こうしたCO₂の固定機能についてはこれからも色々な場で議論されていくこととなりますが、排出量取引については、先ほどの山村再生支援センターを活用し森林や木材利用に適用できるよう対応していきたいと思っています。

また、住宅減税については、これが実現すれば、住宅を購入する消費者の方々が、木造住宅は環境に優しいものだと適切に評価して

いただけるのではないかと思いますし、このような取組は、木材の需要拡大という面にも大きく貢献するものと考えています。

—最後に林政に対する抱負と建材マンスリー読者へのメッセージをお願いします。

必要な安定供給体制の構築 取り戻したい国産材の市場

▷林政への抱負と読者へのメッセージ

島田次長：日本の林業は、戦後造成された人工林が徐々に成熟期を迎えつつあり、これからは本格的な利用についても考えていかなければならないと思います。

このような中で外材の状況や環境問題など様々なファクターを考えてみますと、日本の林業はまさに再生のチャンスを迎えていると思います。

チャンスを掴むためには川上自らがコストの削減を図り、川中・川下で使っていただけるように安定供給体制の整備を進めて行かなければなりません。私共は、森林・林業そして木材産業の関係者の方々と協力し、こうしたチャンスをしっかりと掴んで国産材が市場を取り戻せるよう取り組んでいきたいと思っています。

建材マンスリーの読者の方々には、充実しつつある国内の森林に目を向け、国産材の利用を図っていただきたいと思っています。我が国の木質資源を有効利用することは、森林の整備を通じて地球環境問題への対応につながり、また、山村の活性化にも大きく寄与します。

川上の森林・林業は需要者側の皆様の要望に応えられるよう施業の集約化や路網の整備等に取り組んでいますので、日本の森林資源についても、是非期待し、活用していただきたいと思っています。

—本日は、長時間、有益な話をしていただきありがとうございます。今後のご活躍を期待いたします。



国土交通省の平成21年度の予算概算要求がこのほどまとまった。住宅局関係予算は①高齢者等が安心して暮らせる住宅セーフティネットの充実②低炭素社会に向けた住宅・建築物の省資源・省CO₂対策の推進③住宅ストックの有効活用等による住宅生活の向上などを柱に、住宅対策として前年度比1.14倍の7,477億円を計上した。本稿では、(社)日本住宅協会が国土交通省の後援を得て主催したセミナー（平成20年度住宅問題夏期大学講座、8.28、東京）から、住宅政策と住宅局関係予算概算要求の概要を抜粋してみた。



国交省の平成21年度住宅局関係 予算概算要求と住宅政策の動向

将来世代への承継に向け 総合的な住宅行政を推進

平成21年度住宅局関係予算概算要求は、住生活基本計画の目標の一つである良質な住宅ストックの形成および将来世代への承継の達成に向けた総合的な住宅・建築行政を着実に推進することが基本方針。

このため、平成21年度の住宅局予算は、①高齢者が安心して暮らせる住宅セーフティネットの充実（国費3,378億円）②低炭素社会に向けた住宅・建築物の省資源・省CO₂対策の推進（同1,043億円）③住宅ストックの再生と流動化の推進（同1,022億円）④住宅・建築物の安全・安心の確保（同622億円）⑤街なか居住の推進等（同283億円）に重点を置くことにしている。

まず、セーフティネットの充実に関しては高齢者ができる限り住み慣れた地域や家庭で

自立し、安心して暮らし続けることができるよう、住宅政策と福祉政策の連携のとれた住まいづくり・地域づくりを推進する。

2015年には第1次ベビーブーム世代が65歳以上の高齢者に到達し、高齢者世帯が約1,700万世帯、うち一人暮らし世帯は約570万世帯（約33%）になり、2025年にはその高齢者人口は約3,500万人のピークに達すると推定されることから、高齢者の居住の安定確保を図るための支援措置を創設・拡充する。

また、要介護認定者は全体的に増加し、特に要支援・要介護1の認定を受けた者が大幅に増加する一方、高齢者が居住する住宅のバリアフリー化（手すりの設置、段差の解消、広い廊下幅の確保）がなされた住宅の割合は6.7%、特に借家における対応はわずか2.6%と立ち遅れていることから、高齢者の居住の安定確保のためのモデル的な取組に対する支援事業を創設する。

高齢者が安全に移動するための一定のバリアフリー性能を備えた賃貸住宅の整備に要する費用等については、新たに高齢者向け優良賃貸住宅として地域住宅交付金の基幹事業の助成対象へ追加する。

また、UR（都市再生機構）賃貸住宅ストック（約77万戸）の円滑な再生・再編を促進するため、URに対する出資金制度を拡充し既存住棟へのエレベーターの新設による当該住棟の低所得の既存入居者に係る家賃上昇の抑制にも活用可能とすると共に、昭和30年代に建設された団地の再生に係る用地費を出資金の投入対象とする。

省資源・省CO₂対策で「200年住宅」を支援

低炭素社会に向けた住宅・建築物の省資源・省CO₂対策では、省資源に資する「200年住宅」への支援を行う。また、優れた省CO₂技術が導入された住宅・建築物プロジェクトを支援すると共に、次世代の低炭素型住宅・建築物の技術基準の開発等を推進する。

▷超長期住宅先導的モデル事業

「いいものをつくって、きちんと手入れして、長く大切に使う」というストック社会における住宅のあり方について、モデルの形でわかりやすく提示するため広く民間等から提案を募り、モデルプロジェクトに対し支援を行うことなどにより、住宅の長寿命化を強力に推進する。

▷ESCO事業の仕組みを活用した建築物の省CO₂対策

省エネに関する包括的なサービス提供（設備交換等）し、省エネ効果を保証すること等により、顧客の省エネ効果（光熱費の削減）の一部を報酬として受け取る事業手法であるESCO事業の活用により、中小規模の既存建築物等の省エネ改修、省CO₂を推進するため、事業資金の調達等を支援し、円滑な事業実施を促進する仕組みを構築する。

▷消費者に対する住宅・建築物の省エネ情

報に係る表示方法等の開発

省エネ法の改正を契機として、住宅・建築物の省エネ性能を消費者が容易に比較できるような情報提供を可能とするため、エネルギー消費量、CO₂排出量、コスト等を算定する際の住宅・建築物のモデル等の設定、エネルギー消費量等についての統一的な算定方法、評価方法及び表示方法の開発等を行う。

▷次世代の低炭素型の住宅・建築物の評価方法等の開発

中長期的なCO₂排出削減目標を見据え、エネルギー自給型の「ゼロ・エネルギー住宅」、「創エネルギー住宅」（次頁イメージ図参照）等の普及を視野に、外壁等の断熱性及び設備機器の効率性の評価に加え、太陽光等の再生可能エネルギーの導入も一体的に評価するための評価方法や技術基準の開発を行う。

▷優良住宅の取得に対する支援の拡充

金利の引き下げを通じて、省エネルギー性、耐震性、バリアフリー性及び耐久性・可変性が優れた住宅への誘導を図る住宅金融支援機構への優良住宅取得支援制度について、長期優良住宅の基準に適合する住宅を対象とする等の拡充を行う。

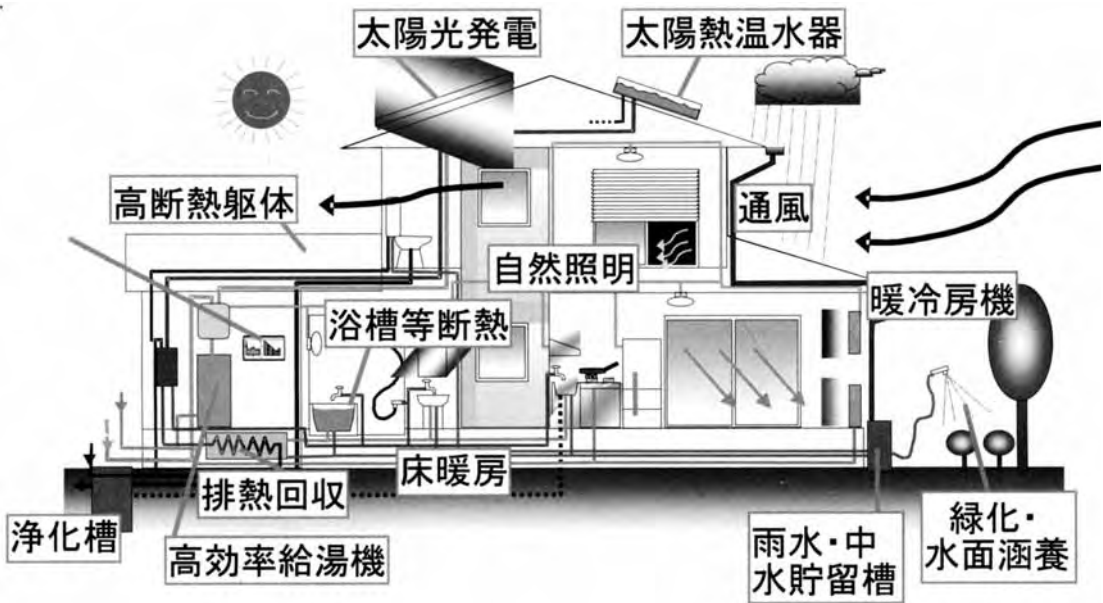
また、地域建材の活用等による木造住宅市場の活性化については、地域の木造住宅関連産業の競争力の強化、木造住宅市場の活性化をより効果的に展開するため、地域木造住宅市場活性化推進事業において、木造住宅関連事業者による地方圏と大都市圏など広域的に地域を跨いだ連携による取組を支援する。

住宅瑕疵担保履行法と改正建築士法の執行体制を整備

住宅ストックの再生と流通化の推進に関しては、ストック型社会への転換を図るため、マンションの再生等を進めると共に戸建て住宅を含めた住宅ストックの流通等の推進を図る。

工務店やリフォーム専門工事業者、ホーム

より環境負荷の少ない住宅のイメージ



センター等の様々な業態で行われている住宅のリフォームについては、消費者が安心してリフォーム事業者を選択し、適切な工事ができるようにリフォームに係る技術的知見の提供や適正性の判断基準の検討、地域における専門家派遣の活動に対する支援等の環境整備について助成を行う。

住宅・建築物の安全・安心の確保では、アスベスト対策及び耐震対策を一体的に進めると共に、密集市街地の整備を促進する一方、住宅瑕疵担保履行法、改正建築士法の執行体制の整備を図る。平成23年度末までに全国8,000haの重点密集市街地における最低限の安全性を確保するという目標達成のため、補助率を引き上げると共に、密集市街地における宅地面積の実態にかんがみ、共同建替えの敷地面積要件を緩和する。

住宅瑕疵担保履行法及び改正建築士法（次頁施行スケジュール表参照）については、住宅の売主等に対する瑕疵担保責任の履行のための資力確保の義務づけ（平成21年10月1日施行）に向け、住宅瑕疵担保責任保険法人における現場検査員の確保・育成に対する助成を拡充すると共に、損害額が大きい基礎部分

の事故や発生件数が多い防水部分の事故の発生原因の体系的な調査・整理、保険金支払いルールの整備等を通じた紛争処理支援体制の充実に対する助成を行う。

また、高度な専門能力のある建築士による構造設計／設備設計を導入した新制度（平成21年5月27日施行）の円滑な施行を図るため構造／設備設計者の技術能力向上のための講習の実施や構造／設備設計一級建築士制度に係る相談体制の整備などに係る取り組みに対する支援を行う。

木造住宅の長寿命化を振興 住宅ローン減税の改正要望

建築材料等の品質確保のための体制整備では、昨年10月に発覚した防耐火関連の大臣認定に係る偽装問題やその後の調査結果等を踏まえ、建築基準法に基づく大臣認定を取得した建築材料等の品質の確保、大臣認定の不正取得の再発防止を図るため、市場に流通している建築材料等に係る抽出検査の継続的な実施に対する助成も行う。

重点を置く基本方針の一つである街なか居住の推進については、人口減少社会における

主な改正・制定内容の施行スケジュール

	2005	2006	2007	2008	2009
改正建築士法		6/20 施行 建築士等の業務の適正化 及び罰則の強化		11/28 施行 建築士の資質・能力の向上	
		6/20 施行 建築士、建築士事務所及び 指定確認検査機関の情報開示		11/28 施行 設計・工事監理業務の適正化 消費者への情報開示	5/27 施行 高度な専門能力のある建築士による 構造設計・設備設計適正化 ・構造/設備設計一級建築士制度に係 る相談体制の整備 等
住宅瑕疵担保履行法				4/1 施行 保険法人の指定 特別紛争処理体制の整備	
					10/1 施行 資力確保の義務化 ・保険法人における現場検査員の確 保・育成 ・基礎部分等における事故の発生原 因の体系的調査・整理 ・紛争処理支援体制の充実 等

▲11月 構造計算書偽装問題発覚

活力ある地域づくりを支える観点から、街なか居住の推進、地域住民等による公共的空間のマネジメント活動への支援、身の丈再開発の推進を図る。

また、木造住宅の振興については、木材利用の推進による環境と人にやさしい社会を構築するとともに、木造住宅の市場競争力の強化と中小住宅生産者の近代化、木造住宅の長寿命化を図るため、木造住宅に係る技術開発や木材生産者と連携した木造住宅生産体系の整備、大工技能者の育成等の取組を推進していく。

なお、税制改正要望では住宅ローン減税の最大控除額（現在160万円）を一般住宅では300万円、長期優良住宅（200年住宅）では650万円、一定の省エネ住宅で400万円に引き上げる（右上表参照）。

住宅ローンを組まずに住宅を取得する場合やリフォームなど住宅ローン減税の対象とならない場合でも、一定の条件を満たした良質

住宅ローン減税制度の拡充

	現行制度(※)	要望内容		
		一般住宅	長期優良住宅 (200年住宅)	一定の 省エネ住宅
控除対象 借入限度額	2000万円	3000万円	3600万円	3300万円
控除期間	10年又は15年 の選択制	10年又は15年 の選択制	15年	10年
控除率	【10年の場合】 1-6年目 1% 7-10年目 0.5% 【15年の場合】 1-10年目 0.6% 11-15年目 0.4%	【10年の場合】 1% 【15年の場合】 1-10年目 0.75% 11-15年目 0.5%	1.2%	1.2%
最大控除額	160万円	300万円	650万円	400万円

※平成20年入居の場合

な住宅への投資には税額控除するなどの緊急措置も盛り込んだ。

また、新たに長期優良住宅と一定の省エネ住宅を適用対象に加え、長期優良住宅の場合、3,600万円のローン残高で15年間一律1.2%、一定の省エネ住宅の場合、3,300万円のローン残高で10年間一律1.2%それぞれ控除する一方、緊急措置では長期優良住宅を建設または取得した場合に増加分の費用（上限500万円）の10%を3年間、所得税額から控除する。

環境にやさしく、 コストパフォーマンスに優れた エコメッセージの新発売。

写真提供: Foresty/Teamwork



PEFC-CoC認証フローリング

エコメッセージ

耐すり傷

耐ヒビ割れ

ワックスフリー

ホットカーペットOK

業V済

横溝なし

マイクロバブル塗装

抗菌加工

F★★★★

低VOC

PEFC認証タスマニア産ユーカリを
70%以上使用しています

マイクロバブル塗装

さらりとしたきめ細やかな質感の
新塗装。

ツヤ板

特殊シート

PEFC-CoC認証合板

木を扱ふ人よりいっせいに

EIDAI

www.eldai.com

EIDAIショールーム 営業日、営業時間はショールームにより異なりますので、事前にご確認のうえお越し下さい。

札幌 011-879-5746

仙台 03-3349-1971

横浜 06-6346-1011

兵庫 093-864-2810

新潟 025-382-3311

金沢 076-252-5302

岡山 086-241-7641

仙台 022-782-1788

名古屋 052-354-4310

広島 082-278-7110

静岡 054-237-8372

京都 075-623-1315

博多 092-641-8036

全大産業株式会社 庶務課 06-6684-3005 〒559-8658 大阪市住之江区平野南2-10-60

お客様相談センター

0120-635-110

E-mail:cs@eldai-sangyo.co.jp

受付時間 平日 9:00-19:00

土日祝 9:00-18:00

休業日 年末年始

REAL FACE

至高の空間を演出する 素材感豊かな建具シリーズ。

日本人のインテリア感覚もヨーロッパインテリアに代表される本物指向の家具などをさりげなくコーディネートできるようになりました。インテリアに対する嗜好が成熟するなか、ドア・床・壁なども本物のテイストが求められています。

REAL FACEは、今日の本物指向のユーザーに向けた高感度・高品質な新たなシリーズです。

REAL FACE typeA

天然の木目を活かした突板は、2つと同じものはありません。
それぞれの個性をお楽しみください。



REAL FACE typeB

天然木の色調、素材感を徹底的に再現。触感にまでこだわったリアルシートタイプ。



東洋スライウッド株式会社

本社: T460-8428 名古屋市中区錦三丁目10-33 錦SISビル2F
営業管理部: ☎ (052) 205-8471 FAX (052) 205-8460 ホームページアドレス: <http://www.toyopolywood.co.jp>

いい家、いちから。



すべりにくいから脚や腰が疲れなくなったよ！

取扱先…住友林業(株)
木材建材事業本部
製造元…大建工業(株)

お手入れカンタン!!・・・ だけじゃダメですね。

通常のフローリングは歩行時にすべりやすく、愛犬の脚のトラブルの原因に。
「ずっと一緒に暮らしたい大切な家族だから、快適に過ごせる環境を…」
そんな飼い主様の愛情を形にしたフローリングが誕生しました。

愛犬がすべりにくく、キズや汚れに強い
愛犬にやさしいフローリング
ワンラブフロア

ペットにやさしい
ワンラブフロア

ひっかき傷にも安心!
きずつきにくい

室内で飼う場合「床面のキズ」は悩みの種。表面層を強くした「ワンラブフロア」は爪が強くあたっても傷つきにくくなっています。

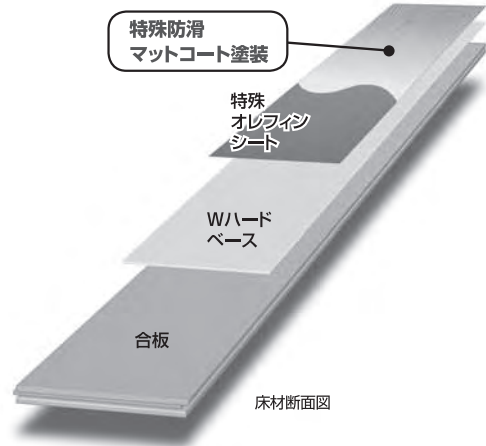


ワンラブフロア
表面の凹みが目立ちにくい。
※耐傷性試験には他の床材を使用しておりますが、表面性能は同じになります。

一般カラーフローア
表面の凹みがよく目立つ。

愛犬の足もとにも気くばりを!
すべりにくい

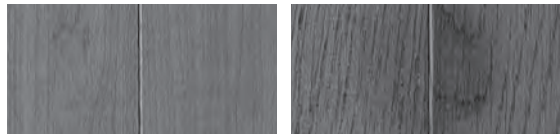
家の中でも小走りになることはあるもの。「ワンラブフロア」なら表面にすべりにくい加工を施しているの、室内でも元々よく安全に歩かせてあげることができます。



床材断面図

よだれや粗相に強い!
変色しにくい

よだれや粗相などによる床面の変色。「ワンラブフロア」ならアンモニアなどにより、変色したり色抜けすることが少なく安心です。



ワンラブフロア
ほとんど変化がありません。
※耐汚染試験には他の床材を使用しておりますが、表面性能は同じになります。

一般カラーフローア
黒シミが目立ちます。

気になる汚れもサッとお掃除!
お手入れ簡単

食べこぼしや抜け毛など日常の汚れは大きなテーマ。「ワンラブフロア」は汚れが付着しにくい表面加工で効率よく簡単にお掃除できます。

「ペットにやさしい」は
「人にもやさしい」
多機能フローリング

- 床暖房対応
- ホットカーペット対応
- 水掛かりに強い
- 耐キャスター性
- 車いす対応
- ワックス不要
- 低VOC
- 抗菌

詳しくは
コチラ

大建工業株式会社

本社 / 大阪府北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ22F)
☎(06)6452-6000

<http://www.daiken.jp/onelove/>



取扱先…住友林業(株)
木材建材事業本部
製造元…(株)ノダ

house kit ATELIA [アトリア]

インテリアスタイルで選ぶ
トータルコーディネートシステム

商品を選定しやすい

商品構成、商品サイズ、基本仕様は各フォームとも共通。好みのフォームを選べば、豊富な商品群により最適なコーディネート空間がより手軽に美しく完成します。

新開発のキズに強い表面

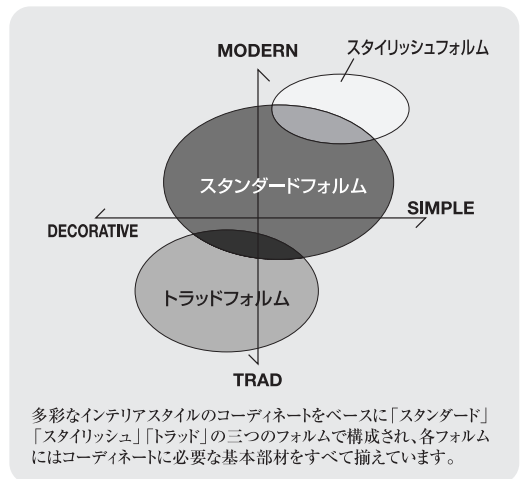
表面化粧シートの表層部に特殊加工を施すことにより耐汚れ、耐摩耗性能など化粧シートの性能を大幅にアップ。日常生活で生じるキズの発生などを抑さえる効果と共に、耐久性能が向上し、美しさが長く続きます。

建具の高さを統一

サッシなどと内装ドア、引戸、クローゼットの高さを統一出来るように、建具の高さ2,223mmもラインナップ。従来の高さより190mm高く、高級感のあるインテリアを実現できます。

より施工し易く、使い易く

新型のピボットは扉の調整がドアを吊り込んだまま隙間を見ながら調整できます。また、扉の重量を床で受けるため経年後も扉調整が不要。扉の吊り込みも簡単です。ピボットはシンプルなカバー付き。



カラーバリエーション

スタンダードフォーム

DM	PT	CT	KC	Y	P	WG
ダークマールーン	ブルーアイボリー	クリアチーク	ホワイトチェリー	ライトチェリー	ビュアメープル	ホワイトキングウッド

スタイリッシュフォーム

YDM	YCT	YWG
ダークマールーン色 横木目	クリアチーク色 横木目	ホワイトキングウッド色 横木目

トラッドフォーム

N	B
ナチュラル	ブラウン

ATELIA New Design

多様化するインテリアデザインの中でも幅広い年代に人気があるヨーロッパスタイルのコーディネートに対応した「クリーパー」「レース」「オーバル」「ユーロアイアン」「クロスアイアン」の5デザインを発売。

Frosted Glass style



Creeper

【クリーパー:ツタ、つる植物】

彫刻的な植物柄が優美な雰囲気を醸し出す、インテリアのステータスシンボルとなるデザインです。

クラシックやエレガントなスタイルだけでなく、上質なシックモダンスタイルなどゴージャス感のあるコーディネートを演出します。

ステンドグラス調とは異なるタイプの仕上げでデザインされた高級感のあるガラスが特徴です。



Lace

【レース:レース模様、網目・刺繍などの透かし模様】

ナチュラルやフレンチスタイルをイメージしたミドルウエストタイプの枠組ドア

レース模様のデザインガラスと素朴な板張りデザインパネルの組み合わせが甘すぎない大人の可愛さを感じさせます。



Oval

【オーバル:楕円(だえん)型、卵型】

ヨーロッパスタイルやクラシックスタイルを演出するミドルウエストタイプの枠組ドア

フォーマルなガラスデザインが伝統を重んじながらも色あせない輝きと上質な印象を感じさせます。

簡単にヨーロッパスタイルができあがり、グレードアップの要素にもなる使い易いデザインです。



Image Photo

Iron style



Euro-Iron

【ユーロアイアン:ヨーロッパ風の鍛鉄(たんてつ)】

ヨーロッパ伝統のロートアイアン(鍛鉄)をイメージしたガラスデザイン

ヨーロッパの旧市街や、田舎のスローでナチュラルな雰囲気のカントリースタイルにコーディネートされた空間を、より豊かに演出します。

腰壁や塗り壁とコーディネートすることで、より一層雰囲気を高めます。



Cross-Iron

【クロスアイアン:十字架型の鍛鉄(たんてつ)】

プロヴァンス(南仏)スタイルをイメージしたハイウエストタイプの枠組ドア

ガラスデザインと板張りデザインパネルが雰囲気を高め、存在感がありながら部屋に馴染む、インテリアコーディネートの中心となるデザインです。

問い合わせ先: 株式会社 

本社:〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6(三朋ビル)
TEL.03(5687)6222(代表)
<http://www.noda-co.jp/>

平成20年9月の新設住宅着工

△は減

			戸数			床面積の合計		
			戸	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)	千㎡	対前月比 (%)	対前年同月比 (%)
新設住宅計			97,184	0.3	54.2	8,286	0.8	41.1
建築主別	公	共	1,946	109.0	83.6	119	91.4	47.4
	民	間	95,238	△ 0.8	53.7	8,167	0.1	41.0
利用関係別	持	家	30,496	△ 3.0	19.9	3,951	△ 3.1	19.2
	貸	家	37,972	△ 0.9	66.9	1,719	0.8	54.2
	給	与	2,149	188.5	600.0	115	117.4	502.0
	分	譲	26,567	0.6	82.8	2,501	4.8	75.8
資金別	民	間	87,752	△ 0.5	54.8	7,495	0.7	42.5
	公	的	9,432	7.7	49.1	791	1.3	29.1
	公	営	1,312	71.1	49.6	75	51.6	11.6
	公	庫	3,689	△ 5.1	72.4	305	△10.3	56.7
	都	市	134	91.4	112.7	11	96.4	98.4
	そ	の	4,297	6.7	32.3	399	3.7	15.9
構造別	木	造	45,469	△ 2.0	19.9	4,651	△ 3.3	15.8
	非	木	51,715	2.4	106.0	3,635	6.6	95.8
	鉄	骨	1,547	△40.6	100.9	104	△44.8	117.6
	鉄	筋	31,725	6.8	157.9	2,260	15.3	163.8
	鉄	骨	18,241	1.4	53.1	1,257	0.7	33.3
	コン	クリ	63	110.0	90.9	4	90.2	37.9
	そ	の	139	△24.9	63.5	10	△11.9	51.2

プレハブ新設住宅：構造別、利用関係別戸数

構造別	戸	対前年同月比 (%)	利用関係別	戸	対前年同月比 (%)
合計	13,460	25.0	持家	5,526	17.7
木造	1,578	4.5	貸家	7,414	34.9
鉄筋コンクリート造	483	159.7	給与住宅	47	176.5
鉄骨造	11,399	25.6	分譲住宅	473	△16.0

枠組壁工法（ツーバイフォー）新設住宅：利用関係別戸数

利用関係別	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	戸	対前年同月比 (%)	戸	対前年同月比 (%)	戸	対前年同月比 (%)	戸	対前年同月比 (%)	戸	対前年同月比 (%)
木造	9,365	22.1	3,131	31.0	4,968	28.2	8	△46.7	1,258	△ 9.6

国土交通省「建築着工統計」

3ヵ月連続増の9万7,184戸

9月の新設住宅着工

国土交通省がまとめた平成20年9月の新設住宅着工数(上表参照)は、前年同月比54.2%増の9万7,184戸となった。

前年同月実績を上回るのは3ヵ月連続で、上昇幅は過去2番目の高水準だが、しかしこれは、昨年6月に施行された改正建築基準法の影響で急激に落ち込んだ反動増によるもので、9月も10万戸には届かず9万戸台にとどまっている。

持ち家は前年同月比19.9%増の3万496戸、貸家は同66.9%増の3万7,972戸、分譲住宅は

同82.8%増の2万6,567戸の大幅増となり、いずれも3ヵ月連続で増加した。特にマンションは同217.6%増(3.2倍)の1万6,920戸と3ヵ月連続のプラスとなったが、これは埼玉県をはじめ首都圏の大規模物件が多かったことが要因。

木造は同19.9%増4万5,469戸で3ヵ月連続の増。工法別ではプレハブが同25.0%増の1万3,460戸で3ヵ月連続増、2×4は同22.1%増の9,365戸で6ヵ月連続増となった。

訂正 10月号(No517)目次の製品紹介「JSPのシロアリに侵食されない断熱材」の侵食は侵食の誤りにつき訂正しお詫び致します。

Live Natural Limited®

ライブナチュラル リミテッドコレクション

あなたに出会いたい樹がある――。



Karin カリン

装飾材としての豊かな表情が、
空間演出を変える。

Wenge ウェンジ

黒く沈んだ色調に含まれる褐色の濃淡
が空間に深みと奥行きを与えてくれる。

Teak チーク

木の宝石と呼ばれる銘木。暮らしの景
色が満ち足りたものになる。

Bubinga ブビンガ

暮らしに赤色系の温かみを感じさせる。
多彩な和みの空間を演出。

Sapelli サベリ

リボン塗の秩序立ったストライプで
空間に大きなリズムを表現する。

Zebra ゼブラ

アフリカの太陽が刻んだ大胆な模様
が空間に躍動する生命感を醸す。

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社

本社 ヴォーパーク 大塚市中央区南本町4-5-10
東京支店 東京都江東区新木場1-4-8
東京ショールーム 東京都港区新橋3-10-10 新橋ビルディングビル2F-0305室

T:541-0054 TEL:03-8245-8238
F:133-0062 TEL:03-8260-7781
TEL:1100 TEL:03-8233-0697

朝日ウッドテック ホームページアドレス <http://www.woodtao.co.jp>

～21世紀の住生活と環境との調和を目指して～

PreCut Forum21は 木造住宅構造設計の頼れるパートナーです

北海道支部

- ◆支部長：西大條精一
 (東北木材株)
- (株)アサノ旭川支店
 イワクラプレカットシステム(株)
 東北木材(株)
 (株)ニッショウ・プレカット
 (株)ハルキ

東北支部

- ◆支部長：松田賢
 (株)スペースパーツ山形)
- (株)青森ホームコンポーネント
 (株)スペースパーツ宮城
 (株)スペースパーツ山形
 (株)宮本工業仙台工場

東京支部

- ◆支部長：野口信比古
 (株)トーア)
- 伊豆木器(株)
 (株)ウッディーコイケ
 宇都宮製材業協同組合
 恒栄資材(株)
 (株)サイモクホーム
 柴産業(株)
 (株)大三商行 千葉支店
 竹内木材工業(株)
 (株)テンサン
 (株)トーア
 (株)長谷川萬治商店
 (株)ピーエッチシー
 (株)ひらい
 平方木材(株)
 北信地域材加工事業協同組合
 (株)マツモト
 (株)マルオカ
 (株)宮本工業千葉工場
 森林商事(株)

東海支部

- ◆支部長：鈴木龍一郎
 (材摺木材株)
- (株)ウッディパーツ
 ウッドリンク(株)
 岡崎製材(株)
 後藤木材(株)
 材摺木材(株)
 大日本木材防腐(株)
 中国木材(株)
 名古屋プレカット部
 東海プレカット部
 (株)マノモクハウジング
 丸山木材工業(株)・(株)アルティアー
 矢橋林業(株)

関西支部

- ◆支部長：朝間喜久雄
 (株)朝間商会)
- (株)朝間商会
 (株)岡本銘木店
 角野産業(株)
 (株)かつら木材センター
 久我木材工業(株)
 (協)智頭木材ハウス産業
 辻井木材市売(株)
 (株)ニチリンプレカット
 丸紅住宅資材(株)
 (株)宮本工業 和歌山工場
 (株)山長商店
 (株)山福

賛助会員

- (株)カナイ
 (株)カネシン
 城東テクノ(株)
 (株)タナカ
 天理集成材(株)
 (株)トーアエンジニアリング
 (株)平安コーポレーション
 宮川工機(株)

中国支部

- ◆支部長：田中知行
 (さんもく工業株)
- 院庄林業(株)
 (株)ウッディワールドのぞき
 キリン木材(株)
 串井木材(株)
 さんもく工業(株)
 (株)スガノ
 竹野木材(株)
 中国木材(株)郷原プレカット部
 (株)ミヨシ産業

四国支部

- ◆支部長：秦忠弘
 (三王ハウジング株)
- 愛媛プレカット(株)
 三王ハウジング(株)
 セキグチ製材(株)
 富士木材工業協同組合
 マツシマ林工(株)

九州支部

- ◆支部長：武田實夫
 (鈴木木材工業株)
- (株)諫早木材市場
 九州ハウジング(株)
 鈴木木材工業(株)
 (株)富建
 ランバー宮崎協同組合

特別会員

- (株)トーアエンジニアリング

監事会社

- 住友林業(株)

※平成20年6月1日時点在籍会員名

PreCut Forum21 設立：平成9年6月1日

会長：久我五郎・久我木材工業(株) 副会長：鈴木龍一郎・材摺木材(株) 常任理事：上山英之・住友林業(株)
 事務局：〒100-8270 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワー14F 住友林業(株)内
 電話：03-6730-3551 FAX：03-6730-3549 E-MAIL：pfmaster@pf21.jp